

みどりの分類と主な機能の整理

本資料では、第2回策定委員会での議論を踏まえ、資料3 p.4以降に示した「みどりの配置方針」に対応して、みどりの規模や所有者、機能等の特性を整理した。

なお、整理にあたって、みどりに求められる機能の例として、「これからの社会を支える都市緑地計画の展望—人口減少や都市の縮退等に対応した緑の基本計画の方法論に関する研究報告書—」（2016, 国土技術政策総合研究所緑化生態研究室）の下表を参考とした。

図表-1.16 新たな社会的ニーズと対応する緑の機能・役割

分類	社会的ニーズ	緑の価値	緑地に求められる機能の例	
環境面	環境共生社会	存在	温室効果ガスの吸収	みどり・環境に係る機能
		存在	ヒートアイランド現象の緩和	
		存在	都市における生物多様性の確保	
		利用	環境教育, 自然とのふれあいの場	
		利用	再生可能エネルギーの活用	
社会面	安全・安心の確保 (防災・減災)	存在	大規模火災発生時における延焼防止	くらし・社会に係る機能
		存在	都市水害の軽減	
		存在	津波被害の軽減	
		利用	避難地・復旧活動拠点・帰宅困難者支援の場	
		利用	災害伝承・防災教育の場	
	健康・福祉の向上	利用	散歩, 健康運動の場, 介護予防	
		利用	子どもの遊び場, 子育て支援	
		利用	緑の景観形成によるストレス軽減, 森林セラピー	
	地域コミュニティの醸成	利用	人の集う場, 地域の活動の場(祭りなど)	
		利用	コミュニティ(ソーシャルキャピタル)の醸成	
利用		地域の自然観・郷土愛の醸成		
経済面	経済・活力の維持	存在	良好な環境・景観形成による不動産価値の向上	
		存在	良好な環境・景観形成による都市の魅力・競争力向上	
		利用	都市農業の振興(生物資源の生産の場)	
		利用	観光振興	

出典) これからの社会を支える都市緑地計画の展望—人口減少や都市の縮退等に対応した緑の基本計画の方法論に関する研究報告書—（2016, 国土技術政策総合研究所緑化生態研究室）

みどりの基本計画で取り扱う各種みどりについて、前ページの「新たな社会的ニーズと対応する緑の機能・役割」を参考として、主に重視する機能を整理したものが次ページの表である。これを元に規模、所有者、機能を踏まえみどりの特性を模式的に表したものが下図である。

図の右上（＝公共所有・管理かつ大規模なもの）ほど「みどり・環境に係る機能を重視」し、左下（＝民間所有・管理かつ小規模なもの）ほど「くらし・社会に係る機能を重視」する、と整理することができる。

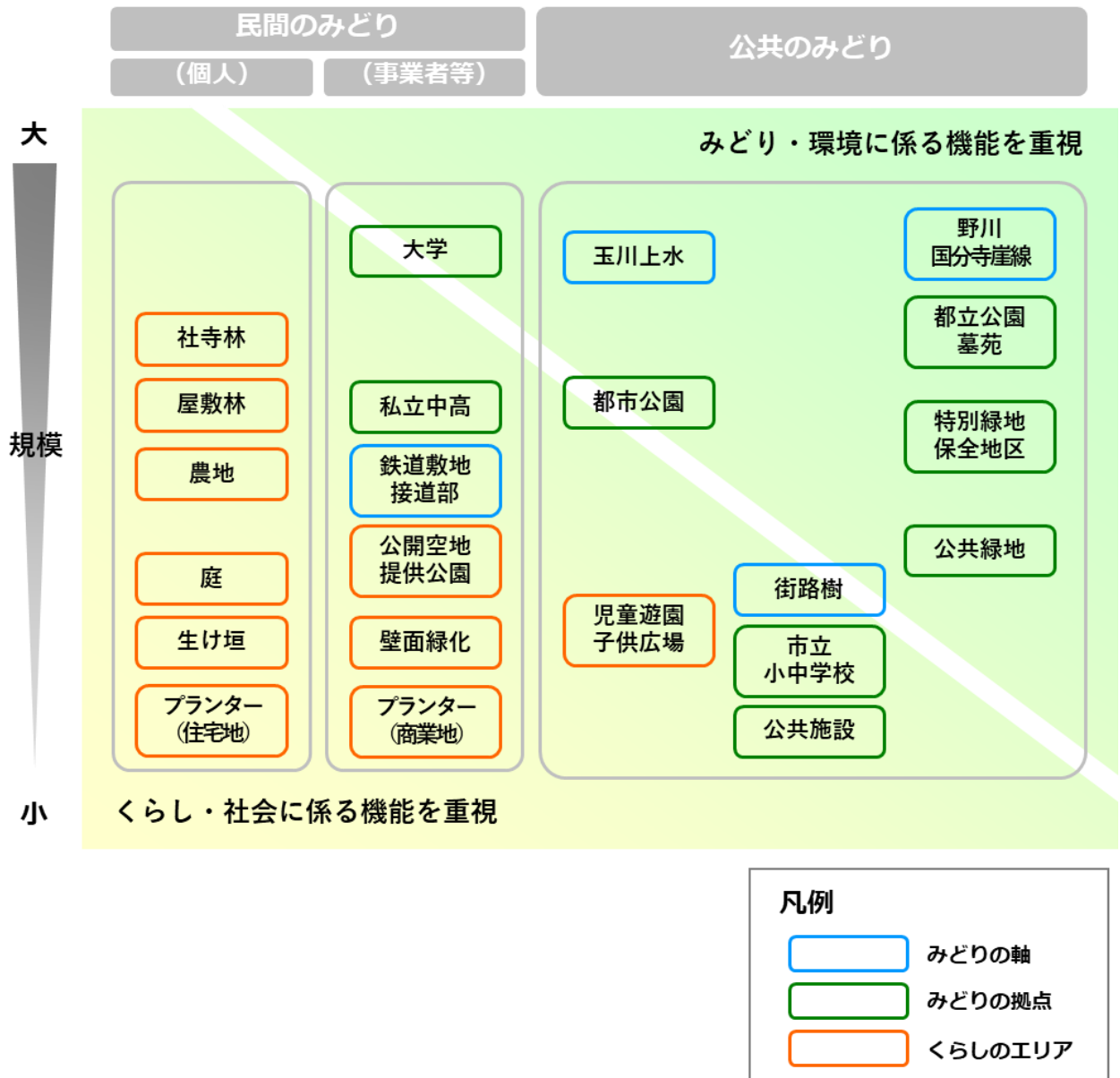


図 みどりの特性図

表 各種みどりに対して重視する機能

	区分	対象	主に重視する機能													特性に合わせた管理方針 (資料 3 p.4~p.7 再掲)		
			みどり・環境に係る機能				くらし・社会に係る機能											
			温室効果ガスの吸収	ヒートアイランド現象の緩和	生物多様性の確保	環境教育、自然とのふれあいの場	防災			健康・福祉		景観		地域活性化				
火災時の延焼防止	水害の軽減	避難地等の場					散歩、健康運動の場	子どもの遊び場	良好な景観形成によるストレス軽減	良好な景観形成による地域の魅力向上	地域の活動の場(祭りなど)	コミュニティの醸成	郷土愛の醸成					
みどりの軸	歴史と自然軸	野川・国分寺崖線	○	○	◎	○	○	○			○		○	◎	○	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の移動経路や景観に配慮したみどりの維持管理保全を行うとともに道路に面した民地の緑化を促進します。 ・東京都とも連携して、環境、景観等に配慮して街路樹の整備、維持管理を推進します。 ・鉄道敷地の接道部の緑化を支援し公的施設で活用する場合の積極的な緑化を推進します。
		玉川上水	○	○	◎		○				○		○	◎	○	○	◎	
	交流にぎわい軸(主要道路)	街路樹	○	○	○		◎				○		○	◎			○	
	交流にぎわい軸(鉄道路線)	鉄道敷地接道部	○	○	○		◎						◎				○	
みどりの拠点	広域交流拠点	都立公園・墓苑	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・景観、環境保全、湧水保全、生物多様性保全、防災と複数機能を発揮できるみどりを維持します。 ・広域避難場所としての活用・整備を行います。(都立公園・大学) ・レクリエーション機能を充実し、市民活動の場としての活用を促進します。 ・市民の憩いの場としてうるおいや安全性を感じられるみどりを創出・管理します。 ・一時避難場所や避難所として、災害時のオープンスペースの確保、防災機能の充実、延焼防止等みどりの維持管理。安全に配慮したみどりを育成します。
		大学	○	○	◎	○	○		◎	○	○	○	○	○			○	
	身近な交流拠点(公園・緑地)	都市公園	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	
		特別緑地保全地区	○	○	◎	○	○	○		○		◎	○				○	
		公共緑地	○	○	◎	○	○	○		○		◎	○	○	○	○	○	
	身近な交流拠点(学校・公共施設)	市立小中学校	○	○	○	○	◎		◎		○	○	○	○	○			
公共施設		○	○	○	○	◎	○				○	○						
くらしの拠点	住居地	児童遊園・子供広場		○	○	○	○			○	◎	◎	◎		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・区域の公園や街路樹、屋敷林等のみどりについて、生活の安全や安心を感じられるよう、植栽する樹種の選定や適正なみどりの維持管理を推進します。 ・住宅の庭や、生け垣やプランター等による季節を感じられるみどりの創出を推進します。 	
		農地	○	○	○	○	○		○			◎	◎		◎	○		
		屋敷林	○	○	○		○	○				◎	◎					○
		社寺林	○	○	○		○	○				◎	◎					○
		庭		○		○						◎	◎					
		生け垣		○		○	○					◎	◎					
		プランター(住宅地)				○						◎	◎					
	商業地・工業地	公開空地・提供公園		○		○	○				○	○	◎	◎			○	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗軒先や道路際を活用したプランターや壁面緑化等僅かなスペースを活用した緑化を推進し、歩いて楽しめるまちなみの形成を推進します。 ・官民連携により人の出入りが多い駅前のみどりを増やし、小金井市の顔となり立ち寄りたくなるみどりの景観形成を推進します。
		壁面緑化		○									◎	◎			◎	
		プランター(商業地)											◎	◎			◎	

※◎は特に重視する機能(各対象最大上位3つ)